

第 4 章



内定

内定（内々定）をもらったら

内定辞退

内定が出なくても

就職活動を終えたら

内定 / Q&A

内定(内々定)をもらったら

晴れて内定。嬉しい気持ちもあるけれど、慎重な対応を。

1 内定と内々定はどう違うのか

内定・内々定は、ともに企業が学生に対して「採用したい」という意思を伝えることを指します。意思の伝え方は企業によって異なり、口頭の場合や文書の場合があります。

内定と内々定は10月1日を基準に区別されています。これは、日本経団連が規定する「採用選考に関する指針」で「正式内定は10月1日以降」と定められているためです。10月1日以前に採用の意思を学生に伝える場合、内々定という表現が使われます。呼び方の違いはありますが、大きな差はありません。

通知の形はさまざま

口頭による通知

最終面接の場で「内々定です」と直接的に言われる場合もあれば、「来春から一緒にがんばりましょう」「もう就職活動を終えてもらって良いですよ」などと遠まわしに言われる場合もあります。内々定を意味しているのかははっきり分からない場合は、「内々定と考えてよろしいでしょうか?」と確認しておきましょう。

文書による通知

採用試験が終了した後に、メールや手紙で内定通知が届きます。なお、その後に誓約書などの書類を提出するように求められる企業もあります。

2 誓約書を求められた場合は

内定をもらった後で、企業から誓約書(入社承諾書)の提出を求められることがあります。入社のある場合は、すみやかに提出しましょう。他の企業への活動を続けているなどで、まだ入社を決められない場合は、提出期限まで待ってもらっても構いませんが、提出が遅くなることを事前に企業へ連絡しておきましょう。また提出を迷った際は、キャリア支援室や家族に相談しましょう。

3 複数の企業から内定をもらったなら、早めに決断を

複数の企業から内定をもらったとしても、最終的には1社に絞り、他の企業は辞退しなければなりません。内定の返事については回答期限が設けられる場合もあり、いつまでも保留はできません。早めの決断を心掛けましょう。また、事前に複数の企業から内定をもらうことも想定し、優先順位を決めておくとうれいでしょう。

4 晴れて進路が決まったら、キャリア支援室への報告を忘れずに!

就職活動を終え、卒業後の進路が決まったら、キャリア支援室へ所定の形式で速やかに報告するようにしましょう。キャリア支援室が学生の状況を把握し、今後の適切な就職支援をする上で必要となります。

また、就職体験記などの記入にも積極的に協力しましょう。あなたの成功体験が、これから就職活動を行う後輩達にとって貴重な情報源となります。

内定辞退

内定を辞退する企業には、速やかに誠実な対応を。

1 内定辞退

就職活動では同時に複数企業の選考を受けているケースがほとんど。したがって複数企業から内定(内々定)を得ることもあります。ただし、最終的に入社するのは1社だけ。他の企業は辞退しなければなりません。内定辞退の連絡があった企業は、代わりに人材を探すための募集や選考活動を行うこともあります。企業も内定辞退者が出ることを想定して採用活動を行っていますが、内定辞退の連絡が遅くなれば、企業の採用活動に与える影響は大きくなります。内定辞退をする場合は、可能な限り早めに、また企業へ失礼のないように誠意を持って辞退の意思を伝えましょう。

2 内定辞退の方法

内定辞退の方法としては、まずは内定辞退の意思を、人事担当者に電話で連絡を入れるようにしましょう。電話だけではなく、企業に出向いた上で、人事担当者へ直接お詫びの気持ちを伝えることが誠実な対応と言えるでしょう。来社不要と言われた場合でも、それで終わりにせずに、必ず直筆の詫言状を送付するようにしましょう。

POINT 1 できるだけ早く辞退の意思を伝えよう

内定辞退の意思が固まったら、できるだけ早くその意思を伝えましょう。早く伝えることで、企業側も内定辞退者が発生した後の対策を考慮することができ、それが他の学生のチャンスを広げることにもなります。

POINT 2 電話やメールだけで済ませようとしない

辞退する場合は、人事担当者に電話で辞退の意思を伝えたと、日を改めて訪問し、直接会ってお詫びをしましょう。電話の段階で「訪問の必要がない」と言われることもありますので、その際はお詫びの手紙を送りましょう。くれぐれも、電話やメールだけで済ませようとしないようにしましょう。

POINT 3 誠意を持って伝えよう

企業は時間や労力、費用を使って、内定者を決定しています。内定辞退はその労力や費用を無駄にしてしまうこととなりますので、誠意を持って、失礼のない態度で、辞退の意思や理由を伝えましょう。

内定辞退の電話例

あなた:「私、南山大学人文学部〇〇学科〇年の山田と申します。先日は採用の内定通知をいただき、ありがとうございました。この度の内定を辞退させていただきたく、お電話いたしました。大変、身勝手なお願ひとなり誠に申し訳ございません」

担当者:「よろしければ、理由をお聞かせいただけますか?」

あなた:「はい。実は、かねてより憧れであった海外営業に携われる企業より内定をいただきました。自分の語学力を社会に出て生かしたいという思いもあり、じっくりと考え抜いた結果、その企業の内定を受けようと思いました」

担当者:「そうですね、残念ですね」

あなた:「田中様には、大変お世話になったにも関わらず、ご迷惑をおかけするようお願いになってしまい誠に申し訳ございません。よろしければ、直接お会いしてお詫び申し上げたいのですが、後日お時間はいただけますでしょうか?」

担当者:「いえ、こちらのお電話で十分です。内定をお受けになる企業で頑張ってください」

あなた:「ありがとうございました。この度は、本当に申し訳ございませんでした。それでは失礼いたします」

内定辞退の手紙例

拝啓 〇〇の候、貴社ますますの発展のこととお慶び申し上げます。
先日は、採用の内定通知をいただき、誠にありがとうございました。
先般、お電話でも申し上げました通り、私の身勝手な都合で申し訳ございませんが、この度の内定を辞退させていただきます。
選考におきましては、田中様は大変お世話になっており、誠にありがとうございました。迷惑をおかけすることになり、本言に申し訳ございません。
末筆ではございますが、田中様と、貴社の発展を心より祈り申し上げます。
敬具
平成〇〇年〇月〇日
南山大学 人文学部 〇〇学科
山田 太郎
△△株式会社
人事部 人事採用課 田中 花子様

内定が出なくても

誰もが初体験の就職活動。負い目を感じず、前向きに。

1 まずは気分転換をしよう

厳選採用を行う企業が多い現在、本当に自社で活躍してくれる人材かどうかを慎重に判断して内定が出されています。また「出会い」や「縁」という側面もあるので、結果が出なくても落ち込みすぎないように。不安な気持ちやストレスを解消するために、思いっきり気分転換することも必要です。

2 これまでの就職活動を振り返ろう

なぜ内定が出ないのかを考える際、まずこれまでの就職活動を振り返りましょう。例えば、企業や職種の研究は十分にできていたか、自己分析はしっかりとできていたか、自分は選考のどの段階で落ちてしまうのか、どこが良くなかったのかなど、内定が出ない原因をステップごとに探りましょう。業界・職種・企業研究、エントリーシート、筆記試験、面接といった各場面の中で、できる限り細かく原因を探し出し、その原因に応じた対策を考えましょう。

また、自分だけでは気がつかない点もあるので、家族や友人、大学のキャリア支援室に相談しましょう。

原因を探る例

- 業界・職種・企業研究** ● 絞りすぎているか？
- エントリーシート** ● しっかりと自己PRができていたか？
- 筆記試験** ● 筆記試験の対策はちゃんとできていたか？
- 面接** ● 志望動機は自分らしさが伝わっていたか？

3 企業を絞りすぎている人は、視野を広げてみよう

企業は日本に約409万社（総務省統計局『日本の統計

2016』より)。これまでに見つけた企業以外にも、自分に合う企業や、業界で高いシェアを獲得している企業、経営が安定している企業はたくさんあるはずです。今まで志望してきた業界・職種・企業から少し視野を広げてみて、就職先候補を増やしましょう。また新卒者採用は、通年で採用活動を行う企業もあるので、チャンスはまだあります。

情報源

キャリア支援室

企業の2次募集や求人票の閲覧など、新しい情報を入手できます。スタッフが相談にも応じてくれるので、積極的に足を運びましょう。

就職情報サイト

採用活動をしている企業が検索できたり、エントリー受付企業の特集が組まれたりすることも多いので、こまめにチェックすることを心掛けましょう。

新卒応援ハローワーク

各都道府県に設置してある国の機関。求人情報の検索や職業相談などができるので、近くにないか調べてみましょう。

合同企業説明会

通年で開催される合同企業説明会もあり、募集している企業のみで行われます。キャリア支援室やホームページなどで情報を入手し、積極的に参加しましょう。

求人情報誌

駅や書店などにある求人情報誌の中に、新卒者採用の情報が掲載されていることもあるので、チェックしてみましょう。

▶最後まであきらめず、前向きに！

志望企業がなくなり、落ち込んでしまうこともあると思います。でも、まだまだチャンスは残っています。4年生の3月までに内定が出れば良いという気持ちで、残りの就職活動に挑みましょう。先輩達の中にも、就職活動が厳しい中、卒業間近に内定をもらった人もたくさんいます。強い意志を持って企業を探し、すばやく行動を起こせば、きっと道は開けます。最後まであきらめずに、そして前向きな気持ちでがんばりましょう！

就職活動を終えたら

お世話になった人達に感謝の気持ちを伝えよう。

1 お世話になった人達に報告とお礼を

企業から内定(=内々定)をもらい、就職先が決定したら、就職活動中にお世話になった人達に報告し、お礼の気持ちを伝えましょう。アドバイスをくれたOB・OGなどに電話で報告し、その後、お礼の手紙を出しましょう。内定をもらった企業にも、もちろんお礼の手紙を出しましょう。

▶電話でのお礼

- POINT**
- 相手の都合が良いと思われる時間に連絡しよう
 - 話す内容を整理しておこう
 - 具体的な例を挙げ、感謝の気持ちを伝えよう
- 例**
- 面接でスムーズに回答できた
 - 業界に詳しくなることができた

OB・OGへの電話例

「私、南山大学 人文学部 ○○学科 ○年の△△です。先日は就職活動について色々なアドバイスをいただきまして、ありがとうございました。

おかげさまで、○○社(内定先の方の場合は「御社」)から内定のご連絡をいただくことができました。まずはご報告だけでもと思い、お電話させていただきました。これもいただいたアドバイスのおかげで、面接で落ち着いて回答できたからだと思います。とても感謝しております。ありがとうございました。来春からは社会人としてがんばっていきますので、今後ともよろしく願います。」

▶手紙でのお礼

- POINT**
- 手紙はできるだけ早くに出そう
 - 手紙のマナー・ルールをしっかり守ろう
 - 感謝の気持ちが伝わるようにしよう

内定先企業への手紙例

拝啓 ○○の頃、貴社ますますの清栄のこととお慶び申し上げます。さて、この度、貴社より採用内定の通知をいただき、誠にありがとうございます。貴社に入社できることになり、とても喜んでおります。来春4月より、精一杯がんばりたいと思っております。まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成○○年○月○日

敬具

南山大学 人文学部 ○○学科
山田 太郎

△△株式会社
人事部 人事採用課 田中 花子様

2 内定後もさまざまな行事がある

誓約書(入社承諾書)を企業に提出し、内定が決定した後、入社までに内定者懇親会や内定式、研修会などを行う企業も多くあります。

内定者懇親会や内定式は、内定者を集めて内定者同士での親睦を深めたり、食事を開いたり、グループワークのような研修などを行います。これから働く会社になるので、積極的に参加し、この機会を活かして会社の雰囲気慣れておくといいでしょう。

また、研修として通信教育やマナー研修、パソコン研修などを行う企業もあります。入社までに社会人としての基礎能力をつけるために行われます。

Q.1

内定が出ないので、
1年留年しようかと考えています。

A キャリア支援室や家族など、
多くの人の意見を聞いてみましょう。

思うように就職活動が進まないと、「もう1年就職活動を先送りにしようか」と思ってしまう気持ちはよくわかります。しかし、もしかするとあと少しで自分に合う企業と出会うかもしれません。留年すればその理由は必ず面接でも聞かれます。その上、家族の経済的援助も必要となってきます。まずはチャンスがある限り就職活動を行い、それでも決まらない場合は、1人で決断せずに、キャリア支援室や家族など、多くの人の意見を聞いてみましょう。

Q.2

2つの企業から内定を
いただいています。どちらにも
興味があるので、どちらに
就職すべきか悩んでいます。

A 自分の考えやキャリアプランに
合った企業を選びましょう。

まずは、自分のキャリアプランを改めてじっくりと考えて、どちらの企業がそのプランをより達成できるかを考えましょう。そのためには、再度その企業や業界について調べてみたり、その企業で働く先輩達の話聞いてみたり、キャリア支援室でOB・OGの情報を確認すると良いでしょう。それらを参考にしながら、自分に合う企業を選びましょう。

Q.3

1社から内定をいただき、内定承諾書が
送られてきましたが、まだ就職活動を
続けたいと考えています。この場合、
内定承諾書を提出するべきでしょうか。

A 企業に待ってもらえるか
確認しましょう。

就職活動は、自分が納得のいく形で終えるべきです。まだやり残したことがあるようでしたら、内定をもらった企業に連絡をして、いつまで待ってもらえるのかを確認した後、就職活動を続けると良いでしょう。

内定承諾書は、企業に提出しても法的な拘束力はありません。しかし、企業は時間と労力、費用をかけて採用を行っていますので、承諾書の提出後に内定辞退をしてしまうと、企業の予定が狂い、とても迷惑がかかります。そのことをしっかりと頭に入れて対応しましょう。

Q.4

4月から入社する予定の企業から、
急に「内定取り消し」の通知が
届きました。
どうすれば良いでしょうか。

A すぐにキャリア支援室に相談しま
しょう。

企業からの内定取り消しは、倒産や業績が著しく悪化した場合などに起こります。企業側の問題で不当に内定を取り消された場合は、1人で悩まず、すぐにキャリア支援室や家族に相談しましょう。